

編輯局報情  
ンセ十・號十六百第・日九十月三

寫眞週報

木の芽  
の春に  
食料増産總がかり



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12

# 實果ぶ結に榮共の亞東



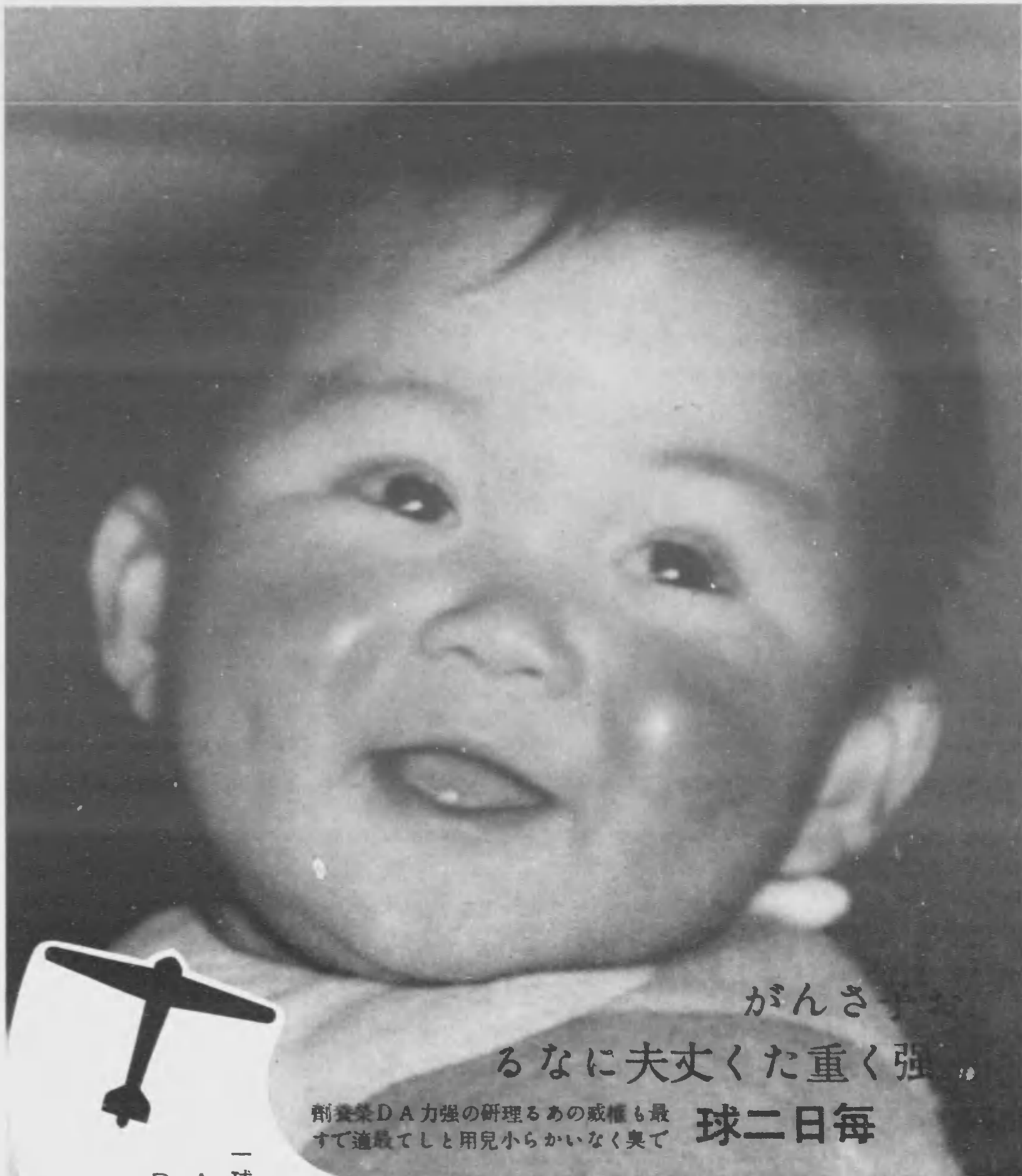
**タイ・佛印調停の署名を終る**

タイ・佛印國境紛争調停會議は三月十日に至つて日・タイ・佛印三國間に完全なる諒解が成立し、三月十一日午後四時内閣總理大臣官舎で日・タイ・佛三國代表の公式最終會議を開催、三國間の重要公文の交換、わが調停條項確認の署名を完了、圓滿裡にこの歴史的會議の終止符は打たれた。

二月七日東京に第一回公式調停會議を開いて以來正に三十三日目であつて、この期間にこのやうな難事業が成就されたことは、實に帝國外交の劃期的勝利として特記されねばならない。更にこの調停會議の圓滿成立によつて大東亞の安定が確保され、共榮圈樹立に輝かしい前途の刻まれたことは一億同胞の慶賀に堪へないところであるが、大東亞の指導國家として帝國の責務が倍加されたことも齊しく痛感されねばならぬ。

↑ 總務調停に關かしの終止符を打つ調停條項確認の署名

四圍もわたかまきりからいへばつてつり編み、を交すワラン下右七センチ調停條項



がんさ  
るなに夫丈くた重く強  
劑養榮DA力強の研理るあの威權も最  
すて適最てしと用兒小らかいなく奥て **球二日毎**



一球の力價  
A 五千國際單位  
D 一千國際單位

二圓  
五圓半  
十圓

領受賞院士學國帝 許特法製・國ケ一十界世

# ンニタビ 理研

店商置玉 社會式株 店理代總



撮影 鈴木 實

まひるの陽をうけて開墾の跡が光る。國に蓋す青年たちの歌びにこたへるやうに富士も今日はくつきりと日本晴れだ



富士にかきやく東海の新開は米や茶ばかりでなく茶に密柑に海の幸に國內有数の豊かな國であるがこゝにも時代の波動はあつた。静岡縣原郡小島村の二町一反歩にわたる山林あとに陸稻増産を目ざす青年團員二百名の開墾の録音が高く響く。だが彼らはやむにやまれぬ身近な死活の問題からたちあがつたのではない。自分の縣、自分の地方が豊かであるからとてこれを以て足れりとせず、全日本のための増産報國へいま攻勢を開始したのだ。翼賛の象徴とは誰がいつた、これは藍峰富士に凝らす皇國民の勤勞の祈りでなければならぬ。

老杉の繁みをとほして射し入る朝陽の神前に増産祈願を凝らす小島村陸稻増産開拓挺身隊

七尺にあまる根柢をさしこんでくんとおこす満身の力に小山のやうな境りもさすがにくづれて枯枝はパツと空中に舞ひ上る下右

突き落されてゆく枯枝の境りはビチビチと音を立て、折れくだけながら雪だるまのやうにだん／＼嵩を増してゆく

# 富士の裾野を掘りかへせ

静岡縣 小島村

戦争は最大の消費者であるといはれる。如何なる國家においても戦争をつづけることと食糧を確保することは不可分の関係のものであつて、第一次歐洲戦争の例を見ても戦闘では勝利を得たドイツが最後に敗者の立場に置かれた重大な原因の一つはやはり食糧問題であつた

『腹が減つては戦は出来ぬ』といふ古語は今でも生きた戒である。殊に戦ひながら建設

をつづけてゐるわが國は食糧問題で行き詰ることのないやうに米でも麥でも魚でもできるだけ多くを生産しなければならぬ。それは農山漁民に課せられた職域奉公の使命であるが、同時にこの基礎的な生産に協力し消費の節約を勵行することはまた全國民の義務でなければならぬ。われ／＼は「農は國の本である」といふ民族的信念にいまこゝろをたかへるべきである





川戸江・京東

空閑池の光景



食糧増産に對する「クウカンチ」の利用を、あゝ空閑池かと早合點しないで私たちは空閑池の利用も亦大に行ひませう

こゝ東京の郊外江戸川區と城東區の農漁家はこの主旨から江戸川農事實行組合協同會を作り、同地域内の空閑池を利用して養魚を行ひ食糧増産運動に協力してゐます。この地域は江戸川と荒川放水路に狹まれ河面より低い濕地帯ですが、年々膨脹する大東京の影響を受けてだん／＼發展して工場が建ち、住宅がどん／＼作られてゐます。こゝに空閑池製造の原因が潜み、年々水質のよい養魚に適した池が増してゆく。といふのは濕地であるため、これを宅地とするにはどうしても地盤を必要として、甲地を盛るためには隣接の乙地を掘つて地盤をすくふ。乙地、池といふ具合です。かうして造られた空閑池は現在十五萬坪に達してゐますが、こゝに目をつけた同協同會は昨年度以來東京府水産試験場から鯉の稚魚二萬とわかさぎの卵二十四萬粒、もちこ十八萬尾を無償で貰ひ受けて約三萬坪の空閑池に放流し時局下の魚類増産に乗り出したわけです



東京府水産試験場から貰つた鯉の稚魚は池に放流される

鎌田小學校に隣接した池には鯉が放流され、わかさぎの卵が入られた児童たちは「鯉より大きくなれ」と舞臺箱に附着したご飯をこの池で必ず洗ひ洗す 上下

盛り上げた宅地と出来上つた空閑池 上下

空閑池利用の計畫を進める關係者は地圖を圍んで案を練る



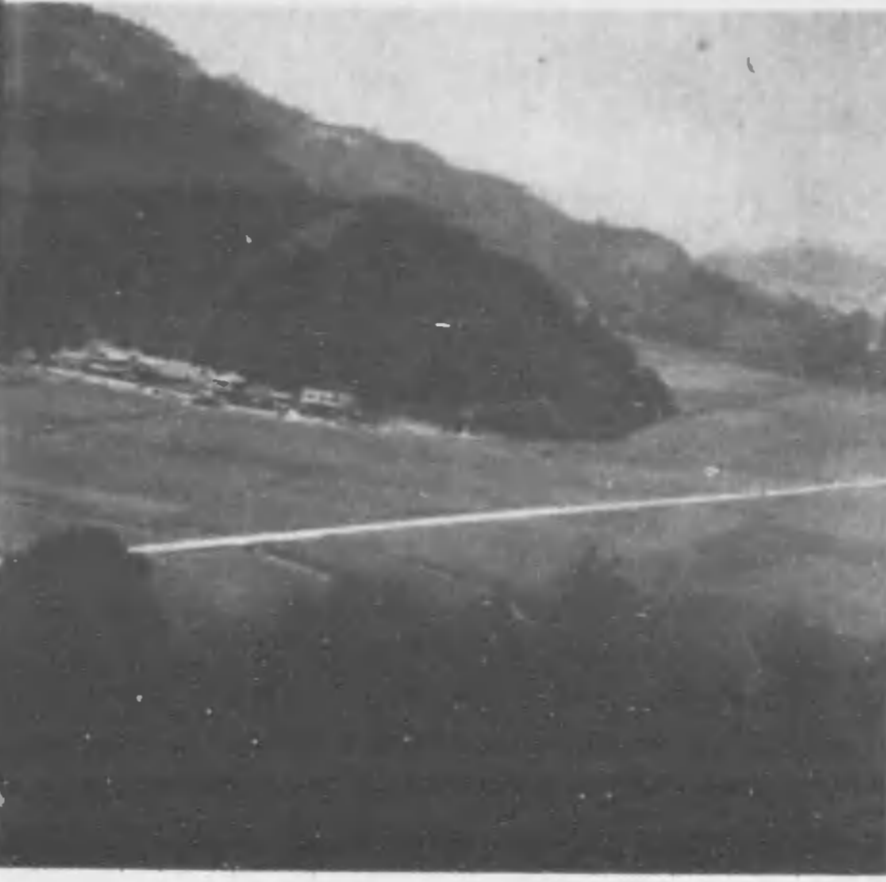
撮影 菊地俊吉  
林忠彦  
池畔にはわが朝の芽がふくらみ、魚をまく養魚池にぬるむ

# 泥田と美田に

高知縣新居村



乾拓事業に村の婦人も総動員で参加、動勞奉仕で排水溝の構築



全国各地方の農村は、現在肥料、勞力、資材の不足などあらゆる悪條件を克服して、一踏食糧増産にたゆまない汗の翼を續けてゐる。その尊い姿の一つとして高知縣高岡郡新居村の力強い増産體制を紹介してみよう

新居村は高知市を西に五里あまり、太平洋に面した半漁、半農の戸數四百、人口二千にみえない小村である。昭和十二年、新居村が經濟更生の特別村に指定された當時は、村内の水田は僅かに八十町歩にすぎず、しかもその半分の四十町歩は過濕田で年中乾燥することのない畦を浚す泥田で、米の收穫の時は舟で運搬するといふ状態であり、麥の收穫などは全く思ひも及ばなかつた。また畑も仁淀川の沖積地帯で徒らに乾燥するといふ有様で、土地資源には全く恵まれぬ状態



農繁期には共同炊事場から各戸へ食事が配給される

更生した部落の共同炊事場



八千人の動勞奉仕で完成した防滴堤



膝を浚す乾拓事業前の泥田の收穫—舟を使つてゐる



昭和三十二年特別村と指定されて以来、松岡村長を中心に全村を打つて一丸として『自給自足農村の建設』を目指して増産街道を邁進してきたのである。まづ、問題の泥田を二毛作田に更生させるため全く困難な乾拓事業が始られた。次いで海岸に沿ふ沖積地帯の砂地を水田化する大事業に着手した。この二つの事業の困難さは、初めは反対者さへ産んだほどであるが、全村民の自覚と決意は遂にこれを克服してしまつた。即ち四十町歩の泥田は立派な二毛作田となり、荒れ果てた砂地からは約五十町歩の水田が新たに造られたのである。その実績をみると數年前までは毎年四、五百石の米の移入を必要とした同村が、早くも昭和十四年には八百六十石を移出し得るまでになつてゐる。また二毛作田に更生した泥田からは、昔は思ひも及ばなかつた量の麥を收穫し得るやうになつたのである。このやうに全村一致の活動は僅か數年にして報いられたのみならず、昭和十五年には小山知事から同村の乾拓事業の實情を地方長官會議の席上、上閣に達し奉る光榮まで擡つてゐる

新居村全量、美しく整備された耕地と全村民の動勞奉仕で築かれた垣々たる村道

撮影 高知新聞社



女子青年團も男に負けず指導者めざし修業にはげむ



村の指導者となる青年たちみそぎの行に精神を練る

大國の農分の一を  
有る大自然の恩恵を自  
然にのみ頼るる農家  
は、その民族を強し  
くするに足らぬ。土  
地をなく物なきは苦  
しい。その苦しい中  
に、秩序の紊る。一  
つは、しかし強さを  
示すには、肥をす給  
ひ、その正しき道を  
歩む。その正しき道  
を歩むとは、人々の  
ために、農業の進歩  
に努むることである。

### のアイライ 農開土拓 りよアユリソム



の海中地るは九横てし接を種と島カシルコな名有に史開ソオレボナはアニデルサ  
たみてしら焉と々細人十しか僅が飼羊と夫漁い賃り且にきし久の紀世幾て島島



こ今 たきでがとこるへ農と土沃の望一事見を地定の望一は力努の汗と血い象  
るい報に勞の士拓が獲收る實とさよふに土沃たしと々黒



拓開的紀世の等成完の路道 事工大の溉灌水治政建のムグ大『へ糧ら砂』  
たし加参に委事大のこが者働勞の人千五萬七十六員人延、れさ始開が



生...會動運大 備定の設施育體 所究研學化 技學種各 所療診兒小、所兒托  
たれらげづ礎基てしと固牢は業働の先祖、れさろおく深く強は根の活



の民移たれ糧に望希いしら新、時るれらへ代に餘の鹽開の夫農がルベヤジの拓開  
る米でん込果てし指目をアユリソム々積が園集



り實なか豊 るす編祝にから朝を地大新が昔の館るな聖に々人むしそいに祭祝の神  
ぶ呼をり祈と謝感のらか心は

## ふやせ食糧

### ◇増産計画のあらまし◇

戦争をしてゐる今日、食糧に心配がないやうにすることは最も大切なことですが、しかし食糧のうちの最も大事なお米が足りなくなつてきたことは御承知の通りです。

わが國全體では一體どの位のお米があるかと申しますと、これは毎年多くなる一方でありまして、昭和十年には八千七百萬石、昭和十一年には九千二百六十万石に達してきて、昭和十四年には約一億二千六百萬石に達してきています。一人あたり一年に一石強を食べる

これに對して、わが國では内地や朝鮮、臺灣でとれる米を一括にしまして、大體食べる分は賸つてゆくことが出来たのでありまして、昭和十三年から昭和十四年まで、昭和十三年の年度から昭和十四年度の年度にうつるときは、内地では八百萬石といふお米が持高としてあつたのです。これはこの年度を申しますのは、普通の年度の考へ方と違つてをりまして、新米が出てくる時を標準として、前の年の十一月一日からその年の十月の終り迄を一年度と數へてをります。

ところで、これが十四年度から十五年度の年度に移ると、つまり一昨年の秋には持越の分としてのお米は四百六萬石に減つてしまひました。同じその年には朝鮮がひでりのためにお米の收穫が一千萬石も少なくなりました。そこでお米の供給が窮乏に陥つてきたのでありまして、政府では皆様にお米を節約していただくやうにすると共に、一方では外國のお米を輸入したとして、お米の不足を防いだのであります。

この計画には相當長い期間に亙つて行ふ根本的なものと、さうしたつての急ぎに備へて行ふものとの二つがござりますが、相當長い期間に亙つて行ふものは、これは、内地で食べる分は内地で出さすだけ、海外に食つてをりまふ方針の下に、計畫を立てられてゐるのです。

内地のお米は今から昭和二十七年迄を第一期とし、約一千三百萬石、第二期は今から昭和二十八年迄を第一期とし、約一千二百萬石の増産を目標とし、この第一期が達成したときにはお米の一年の出來高は約八千三百萬石、第二期は約九千五百萬石にしようとしてをります。そしてこの計畫を實施するための今年には、千五百七十七萬石の豫算を掲げてをります。これは實際にはどういふふうに行はれるかと申しますと、先づ第一は耕地を擴げることであります。つまり今年から五年間の豫定で二十萬町歩の田と三十萬町歩の畑の開墾に手をつけ、これを昭和二十四迄に仕上げることになつてをります。第二は百七十五萬町歩の耕地に對し、水に遠いところでは水利を良くするやうにし、又反對に水がきつる悪い田に對しては適當に水をよくするやうにし更に水はけをよくするところでは排水をして水洩れをよくせよ、又地味が悪くなつた場合はよい土を加ふるやうにし、又水のないところでは地下水を利用するやうにして、耕地を良くすることになつてをります。これを昭和二十七年迄に仕上げることになりました。第三は病氣に強く、早熟に強く、又收穫の多い良い品種をゆきわたらせるやうにし、病蟲を除いたり豫防したり、また肥料の不足を補ふため堆肥、糞肥等を多量に作り、肥料を施肥方法を改良したりする等して、これによつて收穫を増やうとしてをります。更に第四は農事試験場の試験研究を、大いに進んでゆくことになつてをります。

なほこの計畫に應じて、一方では肥料やその他の道具をよくなることになつてをります。大仕事の開墾とか水利事業を行ふためには、農地開發費といふものを設けて、國の監督の下に、この農地開發費を國庫や水利事業に當てることになりました。

次に、さうしたつての計畫としては次のやうなことがあげられます。まづ今年度の米の收穫を増やすために、水田三千町歩をつくり、陸稻の畑五百町歩をならせ、これによつて約十七萬石の收穫を得ることになつてをります。又従来の計畫によるものとして、水田三千町歩をひらき約一六萬石の増加をはかり、更にまた三千町歩の桑畑を水田として約六萬石、更にまた五千五百町歩の陸稻の畑をひらいて、五萬五千石の收穫

をうる計畫になつてをります。これらの計畫によつて、お米の收穫は約四十四萬五千石ぶる豫定であります。

次に麥類の收穫をふやすことですが、お米の不足を補ふために十六年生産の大麥と裸麥は出来るだけ増産をはかることになりました。昨年の麥類の收穫は、大麥、裸麥、小麥共に豐作でありましたが、今年收穫の麥類については大麥約百二十四萬石、裸麥約百六十三萬石、小麥約百九十八萬石の増産を計畫し、このため冬の間だけ作付けられずに空いてある土地や空地を利用し、又桑園や果樹園の樹々の間の空地にも植ゑることになり、作付け別約九萬町歩をふやすことになり、各府縣にはそれれん種子を配る等いろ／＼の施設をいたしたのであります。

このほか、甘藷は約五千五百五十萬貫、馬鈴薯は約八百萬貫を殖す計畫であります。

さてこの大切な農産物の收穫を増し、食糧に心配はいらぬぞといふところまで進まなければならないには農家の方々の熱心な御努力をお願いする次第ですが、政府では農林省の中に食糧増産技術中央本部を設け、各道府縣には地方本部を設け、全國の農業技術者は勿論、経験の深い農家の方々を、總動員することにいたしました。そしてこのため十五年度と十六年度を併せて、百二十五萬三千間の講習をかねてをります。

これと同時に農村の中心として農産物の増産に當つていたため、農業協同の精神に燃える農村の中心の人物を動員することに、今年全國で現に農村の中心となつて働いてゐる人たちの中から一萬五千人を選り、茨城縣の内房洲地所で約一ヶ月の訓練を行ふ豫定であります。

いづれにしても國民のこゝろを食糧増産に眞摯な努力をこめけることが刻下緊要の必要であります。



# タイ・佛印の紛争解決

## わが外交の輝かしき成功

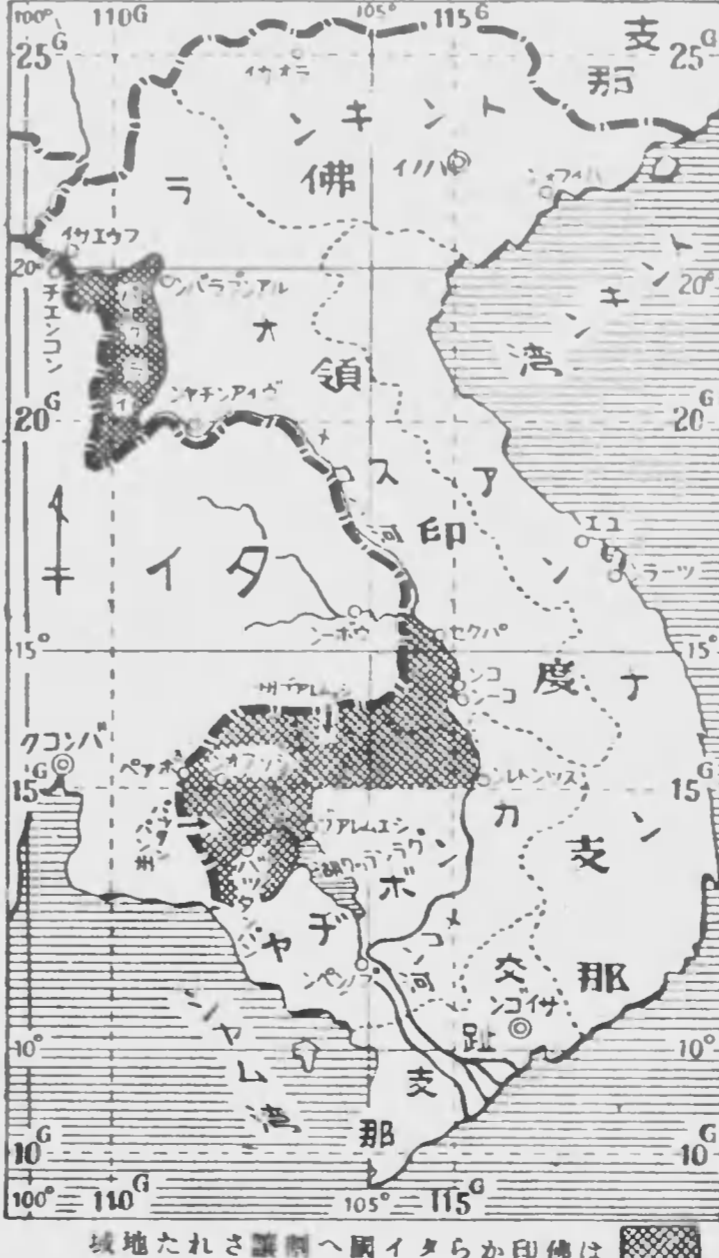
昨年十一月に勃発したタイ國と佛印との國境紛争について、御承知の通り東京でたびたび調停會議が開かれ、日本調停委員を中心として佛國、全權アンソール大使、タイ國全權アンソール大使以下兩國の委員が一室に會して東南アジアの平和のために非常な努力を續けてきたのである。遂にその實は結んで三月十一日めでたき調停會議が成立した。現在の世界動亂期にあつて、このやうに平和的に争ひが解決されたといふことは、特筆大書すべきことといはねばならぬ。われわれはこの機會に、タイ・佛印間の争ひなどのやうな經過で、またどうな條件で解決されたか、その意義はどうか、對此にあるかについて、つきつきりと知つておきたい。

まづ最初、この紛争はなぜタイ・佛印間の争ひの仲殺役を買つて了つたのであつたかといふことについて知つておかねばならぬ。タイと佛印との國境は相當に複雑で、時と共になんべい四方に遷つてくる状態にあつたが、このやうなことは共有其衆の平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

これがつまり去る一月二十日に開かれたタイ・佛印兩國に對して日本が仲謀したわけである。佛國も佛國として日本の私心のない公平な調停を許して佛國の日本の忠告を承認し、一月二十日タイ・佛印の兩國の代表が會談を再開し、その結果として、調停會議が再開され、調停會議が再開された。この後、調停會議は三月十一日めでたき調停會議が成立した。このやうな平和的に争ひが解決されたといふことは、特筆大書すべきことといはねばならぬ。

調停會議は二月七日東京で第一回公式會議を以て始まり、その後第二回、第三回、第四回の非公式會議を重ね、またその間十回の個別的な會議を催し、一方調停を停止する期間も二度も延長するなど、何とかして平和に解決したいとの一念から、あつた。そして、三月十一日、ついに調停會議が閉じられた。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。



佛印からタイ國へを劃る地境

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

### 石をなすものにほかならない

殊に東南アジアに於いて、ひたすら大東亞共榮圈確立に精進してゐる日本にとつては、東南アジアの地域が平和であることは、絶対に必要である。これはいふまでもないことであつて、この點から考へてみても、日本は、今日の調停會議によつて、一段進歩したものである。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

## 歴史上から見た タイ・佛印の紛争

十七世紀より十八世紀にかけて、イギリスとフランスとの勢力下にあつたカンボヂヤを強要して、フランスの對カンボヂヤ保護を約束する第一回カンボヂヤ條約を締結した。タイとして、佛・カンボヂヤ條約を締結した。タイとして、佛・カンボヂヤ條約を締結した。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

タイ・佛印間の紛争は、東南アジアの平和な東進を阻んでゐることに非常に努力を傾けてゐる日本にとつては、全く不幸な事件であつた。それは、この紛争を利用して、わが大東亞共榮圈確立の事業を妨げようとする、不埒な國家の策動があつては、何としてもそのまゝに放任しておかない。

# 答問校學民國

—中—

## るべ學くしのた ンホノズカ

親子運動員で偉い  
て、二億が済んで  
から戦地の兵隊さ  
んに慰問文を書い  
た。その慰問文は  
すぐに修身に入る  
と、かういふやう  
な関係である。そ  
れからまた「天長  
節」といふのがあ  
つて修身の方では  
子供が日の丸の旗  
を立てる所を出  
す、それから観兵  
式の所が出てゐ  
る。それが國語の  
方では日の丸の旗  
を出すと共に神社  
を参拜する、或は  
は兵隊のこの旗  
似をして遊ぶとい  
ふやうなものがある。しかしこれは  
唯修身と國語の関係で、単に修  
身と手を結ぶのみでなく、理科との  
関係、或は藝術科との関係、殊に  
國語の讀文といふものは主として藝  
術科と連絡する。それから自然観察  
も國語の上で観察がなくては行け  
ず、またそれが綴り方にもつて、  
題にもなるといふことになる。

自由な生活方をさせてそれを綴り  
方にもつてゆくといふゆき方とある  
と思ふ。綴り方、書き方も勿論讀方  
の中に含まれてしまふ、つまり「ヨミ  
カタ」に即してやる。結局國語は渾  
然たる一體になるのです。時間は  
多少分けてみない連絡を取る。  
更に國語の中に出てくるやうなこ  
とから「暗示」を受けて綴り方を  
やらすといふやうなこともあるの  
です。

カズノホンはかうして  
てきた  
問 次に理科で、算数と理科を結  
びつけた種と申しますか、その必  
要についてのお話を  
藤野 さつきから教科を統合したと  
か結びつけたとかいふ言葉があり  
ましたが、その考へ方は全然間違つ  
てゐるのです。結びつけたのやうな  
くて新しく教科、科目が再編成さ  
れたといふふうにお考へ下さらない  
と工合が悪いのです。決して今まで  
の十三の科目を考へておいてそれを  
括りつけたのやうにございませぬ  
従つて理科でも同じやうに算  
数、自然科學の初歩の算数、理科を  
なんとかしてくつつけようといふの  
で理科ができたのでなく、前  
からお話があつたやうに物事を正し  
く見考へ、扱ふといふ能力を得さ  
せ實際生活に行動となつて働いてゆ  
く。さうして物事の筋道を見つけて、  
それを辨へ、それに循ひ、更に新ら  
たなものを創造してゆく。さうして  
國運發展の實を擧げる。さういふ修  
練をするのが理科である。結局國  
民學校全體の學問の道の修練とい  
ふものの一つの相を扱へたもので  
ある。即ち、皇國の道の修練といふ  
全一的なものをいろ／＼遠つた方面  
から修練させてゆくその一つが理科  
科なのです。さういふ理科を更に



カズノホン

融け合つた修身と國語  
問 今度の教科で國民科の修身と國  
語がどういふよきに融け合つてゐ  
るかの實例を一つ  
井上 修身と國語とは國民的自覺情  
念を培ふといふ點では一體で、しか  
も修身は人のふむべき道の表側、國  
語は感情を燃らし心腹の裏側とな  
る。例へば「日曜日の朝」といふ子  
供の生活の文章が國語の中にてゐ  
る。それは興亞奉公日の朝ですが、

ふやうなものがある。しかしこれは  
唯修身と國語の関係で、単に修  
身と手を結ぶのみでなく、理科との  
関係、或は藝術科との関係、殊に  
國語の讀文といふものは主として藝  
術科と連絡する。それから自然観察  
も國語の上で観察がなくては行け  
ず、またそれが綴り方にもつて、  
題にもなるといふことになる。

井上 要意としては四つの形に分け  
るのでありますが、しかし今度は實際とし  
ては話の方といふのは教則にも特に  
時間を設けてしつと書いてない。  
むしろ時間を設けないでそれといつ  
てある。結局これは實際の問題で  
あると思ふ。一方において讀方に即  
して話の方をする。子供の言語に  
關心を持たず讀み方から話の方へ  
ゆくといふやうな進み方と、一方

理科の習字になるのです  
習字を通して國民精神を鍛練する  
といふやうな修練の意味と、藝術的  
な美といふことを見なければならぬ  
ので藝術科に入れた。書き方は國語  
の一部分で専ら書寫能力を高める。  
或はは文字の記憶のためにやる。或  
はは本を讀む一方、書いて本を理解  
するといふことが非常に理解し易  
い。本來文章は書いて見ると一層よ  
く分る。つまり書取りといつたもの  
が今度の書き方です

第三の點は、自然物を使つたりし  
て玩具を作らせる。例へば「飛翔水  
鏡砲、家船」などを作らせる。さうい  
ふ遊びを通して、工夫しながら物を  
創造し、作り上げてゆく、といふ修  
練ができる。物を造ることの喜びを  
味はせることは、非常に大切で、そ  
れによつて物を大切にすることも身  
についてきます。生産擴大、物質愛  
護もかういふ所から考へてゆかなく  
てはならないと思ひます

具體化し、具現してゆかうといふ時  
には組織を立てなくてはならない。  
そこに自然の理法といふものを中心  
において組織をやつてやらうといふ  
面と、數、量、空間を中心に見て修  
練をやつてやらうといふ組織との二  
つの組織を、理科の組織として持  
たしたのが理科、算数です。勿論は  
つきり分けられるものではないが、  
物事を正しく見考へ、扱ふとい  
ふ時に算数的なもの、理科的なも  
のに分けられるのではないかと、大  
體のめやすをそこにおいてやつてゆ  
かう。かういふ點から算数、理科  
が新しく設けられたのでありま  
す。それが今までの算術と理科とに  
或る程度近寄つたものであることは  
確かであり、その根本の考へ方、  
に違ひがあるといふ點は強考へて  
おいて置かねばいかぬと思ひます

程度に分けて教、算空間的な見方を  
するものを算数の方に入れ、物の屬  
性を極め、性質の表を極め、その中  
にある筋道を見いださうといふ方を理  
科の方に入れて組織を作つてゆく  
のです。だから始めのうちはこの二  
つの關係がはつきりしないのです。  
小さい子供は物に對しては數、算  
空間的にはつきりしないから始めの中  
間は非常に未分化的といひます。さ  
ういふ見方をすると、そこを捉へて  
算数の極め、始めのうちはさういふ  
と誤解があります。全體的な感覺  
に對して見てゆくといふ觀察をす  
る。それから物の考へ方でも同様  
で、論理的に物を考へてゆくといふ  
やうなことが發達してこないとす  
べから物に即して考へてゆく。さうい  
ふ即物的な考へ方、一方は算数の方と理科  
と強に考へない。物を扱ふに  
しても同様のことがいへる

兒童はどう科學するか  
問 かわりまして、それで理  
科といひます。今までは小學校  
の四年、五年にまで進んでおられ  
る。今度は國民學校の一年生からさうい  
ふ自然の觀察といふものを考へたり  
なる。それをもう少し具體的に、例  
へばさういふことを通じてさういふ  
科學的なことを小さい子供に教へて  
ゆく。實例を一つお話しな  
いと思ひます

相撲をやらせて、どうすれば勝てる  
かと工夫すれば、草の頭の曲つた  
ころによく注意して見る必要が自然  
に生じ、物を見る眼が自づと養はれ  
る。さういふふうにして遊びを通し  
て自然を見る。その際には春の氣分  
を味はせ、季節の感覺を養ふことが  
大切で、つまり「情緒」などと切り離さ  
ないで扱つてゆく。これが第一です  
第二は、動物の飼育栽培をさせ  
るといふこと。これは入りたての子  
供には一寸無理なやうですが、でき  
る範囲内でやらせてゆく。さうする  
と、生命を愛するといふ精神が養  
はれる。これは非常に大事な事柄で、  
將來農業などをやるにしても、天地  
の化育に參するといふやうな心持、  
つまり、生命愛育の心が基になりま  
す。それには自分の手際にかけて飼  
つたり、植ふたりしなければなら  
ぬ。さういふことは小さい時、つま  
り餘り理知的な方面が分離して發達  
してゐない頃からやる。さうすると  
最もよく子供が伸びてゆく。自分で  
飼つたり、自分で植ふたりするのだ  
から、それがどうなるだらうかと思  
つて、見るといつても見ずにはを  
られない。そこで動物の習性にして  
は、植物の形體にしても、さあ見ろ  
といはれなくてもひとりで見ざるを  
得ないやうになつてくる。これがあ  
りのまゝの姿を最も自然に捉ませる  
よい道だと考へてをります

つづいて  
問 次は理科で、算数と理科を結  
びつけた種と申しますか、その必  
要についてのお話を  
藤野 さつきから教科を統合したと  
か結びつけたとかいふ言葉があり  
ましたが、その考へ方は全然間違つ  
てゐるのです。結びつけたのやうな  
くて新しく教科、科目が再編成さ  
れたといふふうにお考へ下さらない  
と工合が悪いのです。決して今まで  
の十三の科目を考へておいてそれを  
括りつけたのやうにございませぬ  
従つて理科でも同じやうに算  
数、自然科學の初歩の算数、理科を  
なんとかしてくつつけようといふの  
で理科ができたのでなく、前  
からお話があつたやうに物事を正し  
く見考へ、扱ふといふ能力を得さ  
せ實際生活に行動となつて働いてゆ  
く。さうして物事の筋道を見つけて、  
それを辨へ、それに循ひ、更に新ら  
たなものを創造してゆく。さうして  
國運發展の實を擧げる。さういふ修  
練をするのが理科である。結局國  
民學校全體の學問の道の修練とい  
ふものの一つの相を扱へたもので  
ある。即ち、皇國の道の修練といふ  
全一的なものをいろ／＼遠つた方面  
から修練させてゆくその一つが理科  
科なのです。さういふ理科を更に

々方たれらへ答

文部省 初等教育局長 高等教育局長 庶務官	清水虎雄 熊登御堂定 櫻井 役
井上 紘 藤野直道 角南元一	





時局下食糧確保が叫ばれる... 都市は決して農作物に過する... 農作物栽培と場所

農作物栽培と場所... 都市は決して農作物に過する... 農作物栽培と場所

作物と肥料

以上の養分はいかに肥料に... 作物と肥料

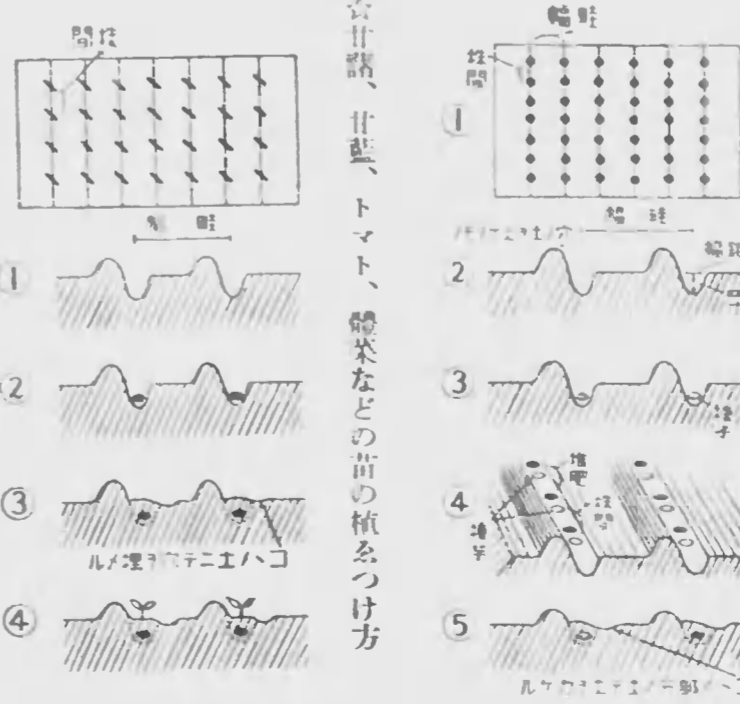
作物と病蟲害

農作物には私たちが同じや... 作物と病蟲害

加量肥料として... 加量肥料として

Table with columns for crop name, location, and cultivation details. Includes crops like 甘藷, 芋, 胡瓜, etc.

子や實を作る作用が衰へると... 肥料は實肥と呼ばれる位、實





### 文部省推薦の 映畫と圖書

#### 映畫

この映畫は、現地へ向ふ部隊が内地での最後の演習風景を描いたもので、村の民家でそれ／＼兵士の真心こめてもてなす話柄が情感深く表現されてゐる。演出技術上に細かい注意が行届いて好ましい作品である。

文化映畫 子供に遊び場を 七巻  
東京毎日新聞社製作

この映畫は、貧窮と非衛生のうちに放任されてゐる孤児の子供たちの生活を描きつゝ、これらの子供たちに「よき遊び場」とよき遊伴を與へよと説いた映畫である。また描き足りない悩みはあるが、健全に育て上げべき子供たちへの配慮と施設とに對し共感を喚び起す明るい作品である。

文化映畫 蘭印探訪記 八巻  
大阪毎日新聞社製作

この映畫は、本東困難な特殊兒童の教化問題を取扱ひ、彼らが指導されて自らの野望に光明を見出してゆく過程を描いたもので、兒童の霊魂的な生活倫理を克明に掘り下げた異色ある映畫である。

文化映畫 蘭印探訪記 八巻  
大阪毎日新聞社製作

介したもので、同地に對する一般國民の認識を高めることに意義深いものがある。

#### 空の少年兵

文化映畫 空の少年兵 四巻  
東海映畫社製作

海の荒鷲として國民が限らなき信頼と感謝の念を寄せてゐる海軍少年航空兵が、その若々しい精神と身体、技術などすべてを空の護りに捧げるため、確乎たる軍人精神のもとに規律正しい訓練を終へ、榮ある東立の日に来るまで、寫實的に描いたもので、國民をして帝國海軍への誇りの念をわき起さしめるものである。

文化映畫 スキー初等中級篇 一巻  
朝日映畫製作所製作

冬季スポーツとして一般國民に親しまれてゐるスキー技術を、慎重な撮影によつて平易に解説し、スキーに對する正しい認識を深めるためのものである。

#### 母代

文化映畫 母代 九巻  
新東宝映畫製作所製作

この映畫は、過去に過失を持つ若い女看守長が女囚に生れた子供の母代となつて養育する物語である。今日の行刑精神を正しく把握してゐると共に、主題の取扱ひ方も巧みであり、特に女看守長の成實な心を描いて観る者に深い感銘を與へるものである。

#### 吉田松陰

文化映畫 吉田松陰 五巻  
吉田松陰生誕百周年記念事業委員会製作

吉田松陰の動盪の志士と交つて、時勢を認識し、また松下村塾を開いて、學問人格をもつて青少年を訓育し、遂に安政の大獄に坐して一生を終つた、その短い三十年の生涯の事績を極めて興味深く述べてゐる。一般國民特に青年にお奨めしたい。四巻目二二〇分、定価六〇〇円、東京毎日新聞社製作。

り、特に女看守長の成實な心を描いて観る者に深い感銘を與へるものである。

#### 戸田家の兄妹

文化映畫 戸田家の兄妹 十一巻  
新東宝映畫製作所製作

この映畫は或る富裕な家庭の兄妹たちとその母との間にわたる生活倫理を扱つたものである。熱練した演出技術は、このやゝもすれば低俗におおひり易いテーマに美しい表現を與へ、娯樂映畫として成功したものである。

#### 吉田松陰

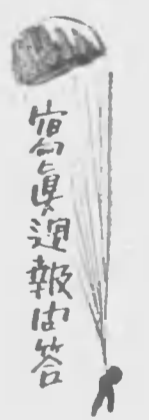
文化映畫 吉田松陰 五巻  
吉田松陰生誕百周年記念事業委員会製作

吉田松陰の動盪の志士と交つて、時勢を認識し、また松下村塾を開いて、學問人格をもつて青少年を訓育し、遂に安政の大獄に坐して一生を終つた、その短い三十年の生涯の事績を極めて興味深く述べてゐる。一般國民特に青年にお奨めしたい。四巻目二二〇分、定価六〇〇円、東京毎日新聞社製作。

#### ナチス女性の生活

文化映畫 ナチス女性の生活 一巻  
ナチス女性生活調査委員会製作

大使夫人秘書官軍をこつてナチス女性の生活を紹介した本であつて、花嫁學校、隣組など數十項目に分けてドイツ女性の日常活動を描いてゐる。非常時下、わが國一般婦人にお奨めしたい良書である。(四六分一六二〇分、定価二二〇円、東京毎日新聞社製作)



### 宮身運報は答

【問】よくラテンアメリカと言ひますが、どの地域を言ふのでせう。(和歌山 田島)

【答】ラテンアメリカとは日本で中南米と呼んでゐる地域つまり北はメキシコから南はアルゼンティンに至る地域のことで、なぜラテンアメリカと呼ばれるかといへば、それはラテン系人種即ちスペイン人、ポルトガル人等が植民して、後獨立國家をつくり、現在でも比較的國家の主要な構成分子となつてゐる國々が大部分だからです。

【問】英米の經濟戦法である資金の凍結案とはいかなるものですか、その對應策は。(茨城 市野)

【答】資金凍結案といふのは、國內にある外國の資金の移動を抑へる政策のことです。爲替管理もその方法の一つです。最近問題になつてゐるアメリカの資金凍結案といふのは、歐洲戦争以來、艦船勢力の及

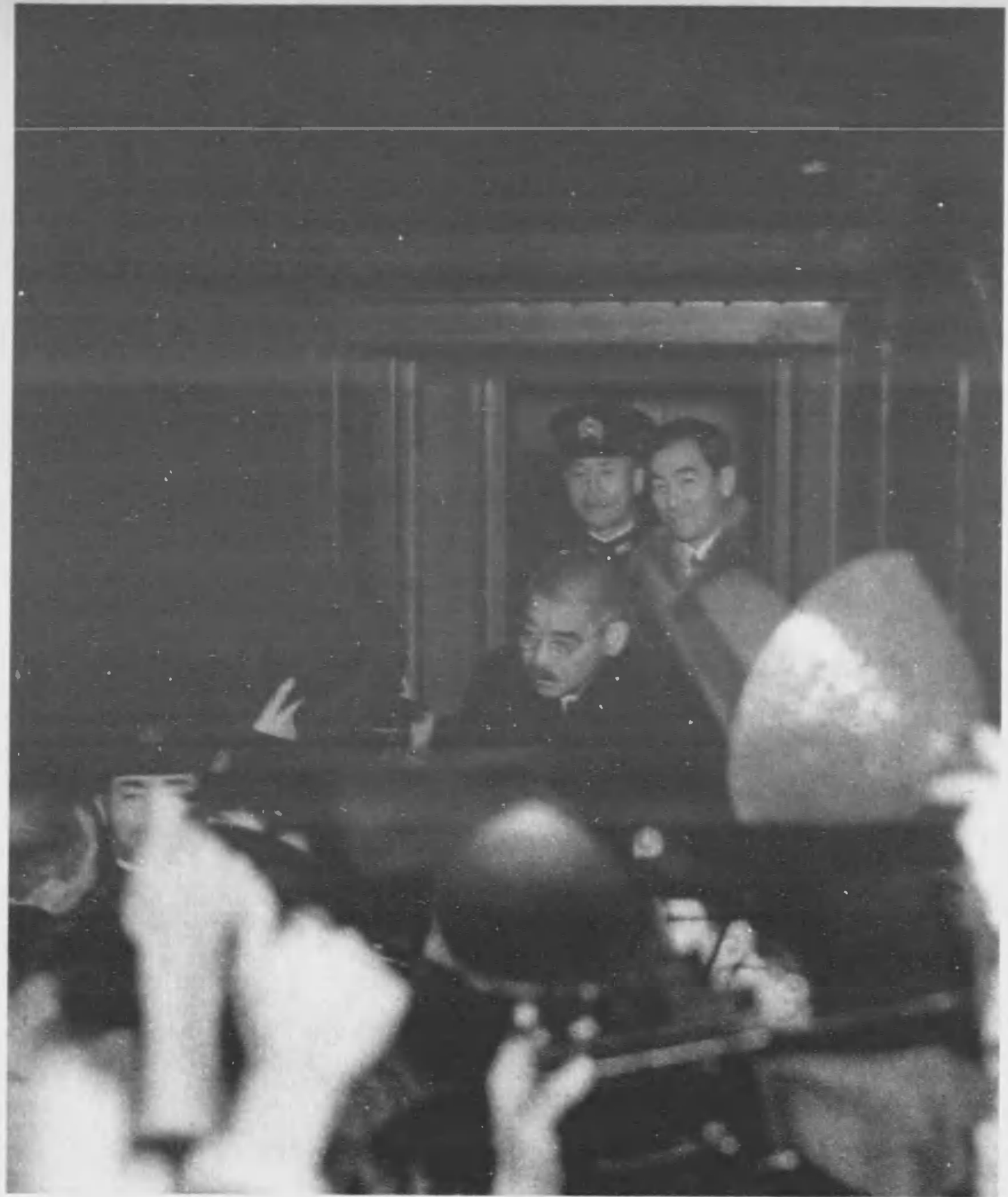
んだ歐洲諸國の在米資金の移動を制限してゐるのです。現在この適用を受けてゐる國は、ノルウェー、デンマーク、オランダ、ベルギー、フランス(屬領をも含む)等であり、その目的はアメリカがこれらの國々に従來貸金を持つてゐるので、その擔保をなくさないためだといふことになつてをりますが、この法令をこれらの國以外にまで廣める危険があるので、油断は禁物です。

その對應策は、秘密作戦ですから發表できませんが、要點は、本邦經濟の英米依存を脱却するにあるわけですから。

**Relay 計算尺**

定例 ¥ 3.50 より ★カタログ無代送呈

東京・銀座 理研光學工業株式会社 計算尺部 電話・代表銀座 5686



## んら語と洲歐

### す發出臣大務外岡松

昨秋九月二十七日の三國同盟締結以來期待されてゐた松岡外務大臣の渡歐は、今回タイ・佛印國境紛争會議の圓滿成立を機にいよいよ實現し、松岡外務大臣は三月十二日夜東京發歸の途についた。

現職外務大臣の海外出張は日露講和會議の際當時の小村壽太郎外務大臣渡米以來のことであるが、松岡外務大臣の今回の渡歐は盟邦獨、伊兩國の首腦者と親しく會談し、序に歐洲情勢の觀察をするためである。

東京發歸の松岡外務大臣

おつての馬場もあいに

東京・目黒



たとへ猫の類ほどの空地でも食糧増産に参加させようとする運動は都會でも急速な擴がりをみせてゐるが、都市における空地で比較的耕作規模の大きいものに東京市の目黒元競馬場の約一萬坪にわたる開墾地がある

熊笹一萬坪の荒原が、現在のやうに一變して黒々と肥沃な土の香をたゞよわせるまでになつたのは、あの空地は勿體ないぢやないかと歸還勇士が振つた一畝に、あの人々がやるなら私たちも協力しようとする熱意が、この空地の打ち起し作業に参加した汗の結晶であつた

立派な耕作地に還元したこの開墾地にはこのほど数日に亘つて隣組群が出勤し、目黒開墾会の統制のもとに東京市農漁課から機通を受けた馬鈴薯の植付が行はれた

目黒元競馬場  
跡の開墾地

種薯がきた！ 植ま方を知らぬ人たちのために町  
の古老は種薯の切り方から植まつけを指導する



種薯の切り方は芽に添つて縦に切る



奇天井の下に打ちひろげたひろげの團座



忙しい馬鈴薯の植まつけ



に々家を養榮



◀ 聖日配給所の栄養士さんは材料購入にでかけます(この白菜は上等ですが)



◀ 一人一日の献立材料費は二十二銭(今日の五人分一圓十銭、明日は主人が旅行しますので四人分お願ひします)



◀ 買出したまはらなくても、お家での用意はこれでもうすんだわけ、料理の方法を習つて夕食の調製を頭に描いて



◀ すっかり揃つた材料は百軒餘りもある籠に分けて配るのです(今夜の牛鍋おいしうね)

日二月	日一月二	日八月二	日月
二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二	朝 昼 夕 食品別
米 麦 豆 油 肉 魚 野菜 果物 調味料 その他	米 麦 豆 油 肉 魚 野菜 果物 調味料 その他	米 麦 豆 油 肉 魚 野菜 果物 調味料 その他	

家庭栄養食献立表

大根半分あれば足りる場合でも八百屋さんでは丸々一本買はなければならぬし、吸物のあしらひに少々三つ葉があれば足りる場合でも、やはり一握とまとめて買ければ大抵は賣つてくれませぬ。一片の食糧さへ大切なきよに生じる無駄は何とかならないものでせうか。又、朝は何にしよう、晩は何にしようかといふ毎日の献立に頭を悩ます必要がなくなり、あちらの八百屋さん、こちらの魚屋さんと買ひ出しに歩く時間を節約してそれだけの時間を戦時下の主婦がしなければならない方面へ向けることができればどんなにいいでせう

この解決法は——これには共同炊事が行はれてゐる所があり、中効果をあげてゐますが、商店の多い都市地では同じ時間に同時に食事をするわけに行かない場合があり、一律に共同炊事を強行すると無理が生じます。こゝに考へられたのが、家庭食事を合理化した『家庭栄養食献立配給』といふやり方です。これは既に東京でも数ヶ所で行つてゐますが、こゝに東京市豊島区豊島町地蔵通商店街商業組合の配給所を御紹介しませう

この方法はまづ『町内のお家所』たる配給場から一週間分の献立表を各家庭へ配り、注文を受けます。各家庭から幾人分といふ注文をうけると、これをまとめて朝のうちに配給所専属の栄養士が材料を購入し、午後までに各家庭から持参の籠に分配してをきます。各家庭の主婦は時間が来ると配給所へ集つて材料の入つたその籠を受

け取つてくれればよいわけです

もつともこの方法は御飯も御惣菜も銘々のお家所で料理をしなければなりません、それだけに各家庭の嗜好に應じた調味料ができるといふ便利があります

食糧確保の叫ばれてゐる折から、合理的で経済的、しかも栄養豊富といふこの方法を町會や隣組、また商業組合などでやつてみてはいかゞでせう

◀ 配給所の栄養士さんは時々暇を見ては各お家所へ指導訪問をします(今日の私の説明わかりましたか知ら)



# 満洲の大地に呼ぶべき

周家營開拓團

周家營開拓團は十一部落から成り現在總戸數一五二、總人口三五〇で近く開拓民を迎へる筈である。注意を置くことは總人口のうち純農出身は僅かに約二割、他はゆるゆる開拓民の人々である。しかし入植以來何れも急進し土の人の人となつて、開拓民の如く成功を示してゐる。そして今は、伐採、築堤、製材、製糖、煉瓦造り、炭づくり、農産物加工と冬の仕事を大前である。右(左)は第三部落の全景。煉瓦造の頭太な造り。屋内は温突やベチカを備へて冬を知らぬ暖かさ。(右)「チョック」と曳馬を繋ぎ通す溝ももうすつかり板についた。満地に生つた羊草を運ぶのも大切な冬の仕事の一つ。羊草は家畜の飼料に製糖業に製糖の材料に必要不可欠なものである。

多の満洲——さう聞いただけで内地の人々は白雪皚皚、寒風吹きすさんで住むに苦難の荒野を想像されるかも知れない。然しこれほど誤つた考へはない。なるほど地下五、六尺は凍りついて冬の耕作は不能であるが、積雪も少く、強風もなく、積り快晴の天気に、わが土の戦士として満洲の北、東、東南部の一帯に入植してゐる約十萬人の拓土たちは、饑餓な意欲で多の冬の生産的な仕事に連日多忙な日を送つてゐる。ここにその一例として昭和十三年二月第七次集團開拓團として入植した濱江省肇河縣から四キロの地點にある周家營開拓團の生活ぶりを紹介しよう。

周家營開拓團は先遣隊の入植以來齊藤團長の下に全員一糸亂れず、先づ建設を主として傍ら小規模ながら可耕地の耕作から始め、第二年には本隊を迎へて個人家屋の建築にかかり、一方畑作、園藝、養畜、煉瓦木材の生産は加速度的に大規模となり、第三年目には十一部落の個人家屋を完成し、今やそろそろ三年目の冬を越さうとしてゐる。製材場、製米場、煉瓦場、畜舎、農産物加工所、假校舎等も出来た。かくて建設の段階は終り、今までの建主耕従の方針は逆に耕主建従の本格的な仕事に變らうとし、やがてこの四月からは團は各部落に分散することとなり、團員の張りきり方は「やが上にも張りきり」である。

周家營開拓團員の自慢の點は、開拓地區にある。平地あり、山あり、丘あり、その上三方が川で圍まれてゐる。従つて複雑な地形を利用して、農林業は勿論、果樹栽培、養畜、養魚、養蜂に至るまで極めて多角的な農業を採つてゐることである。しかし何といつても團員たちが今年こそと腕を揮つてゐるのは地區の兩端にある二百五十町歩の濕地に溝を掘り、排水と灌漑の便をはかつて、いよ／＼水田の開発にとりかゝることである。しかも團員達のどの顔にも『見込は十分ある、もう大丈夫だ』との明るい希望が満ち溢れ、来る春が待たれてゐる。

やがて四月五月となり、百花野山に鶯を聴ひだすと共に、團の人々の男々しい土の仕事を再び始めることだらう。



開きしまさる大陸の沃野を實地に見て、希望の胸に少しほほゆる新婦のみき子さんは、渡満早々お隣りの先輩に倣ひの編み方を習ひ、拓士の妻として現地修業に大奮



零下十五度乃至三十五度の寒さは防寒帽に軽く暖かい、襟々たる陽光の下に裸々として子供たちは冬を愉しむ。雪といつてもせい／＼三寸位まで。間もなくお兄ちゃんらが學校から歸つてきて賑やかなスケートが始まることだらう。

満洲生れの豊坊(満二歳)の健かな成長ぶり。生れよ殖せよの誓は開拓村からといひたいほど、家族を抱いてから僅か二年餘りの間に、主婦百人に對し三十四人の赤ちゃんが誕生、しかも死亡率は至つて低い。村にはチャンと産婆さんもゐる。

鏡をかついで今日は休日だ。さいさきよく一羽の雉を射止めたがこれでは物足らぬと、目指すは向ふの山である。それもその筈、五里乃至十里の山に入れば、熊、狼、虎などの豪奢な珍禽までが豊富に待つてゐる。

内地の人に負けてはならぬと、月々の編組常會には活潑な開拓建設の話がはびこる。過去の苦は語らず、常に明日へ明日への希望の熱火は燃えて開拓のさ中に村人たちの顔はほてる。

今年は何年にもない暖さのため、大卒の農家の根拠が悪く、この分では今年の収穫が思ひやられる、といふ話を聞いた大分市の組さん連四百名は、二月一日の農運奉公日、身を切る由布風をもとに、マスコ、モンベに身を固めてなれない農運奉公にやりました。この日早朝春日神社の社前で増産祈願を行ふと、妻は必ず横から踏んで下さいとの注意を受けて、農運奉公の畑地二十町歩の歩みを進へた。この踏みつけ作業で五畝に二十町の増産は確実だとのことだから二十町歩では大した増産になるわけだ。



増産の活発化 熊本県 熊本県上益城郡木山町は、全国的に増産運動の熱風を吹かされてる食糧増産運動の熱に燃じて全戸の半ばを占める商家の若者もこの増産に一枚買はむと相済まぬと町内会で相談一決、各戸から一名以上を出発と定めて、町附近の荒れ地七反歩を、無償で借り入れ、三日間で、立派な畑地に仕上げました。これ、今年はその荒れ地の開墾がライオン（甘藷）とんと作つてアルコールの原料に供出する外、一部に野菜類を植まつて、二百五十戸町家の自給自足確立とばかり、非常な張り切り方です。



**復習室**

本城からあなたは何を學んだてせうか？

- 1 こんどのタイ、佛印講和會議によつてタイが佛印から返還をうけたのは大體どこでですか？ (11頁)
- 2 乾拓事業とは、湿地の水を排して田や畑にする事業？乾燥した荒地に水を引いて水田を作る事業？ 海南島の海岸で行はれてゐる製鹽事業？ (7頁)
- 3 農作物の栽培地としてかぬ具へてゐなければならぬ三つの條件は？ (14頁)
- 4 「クワンチン」で鯉や鰒が育つてゐます。片假名を漢字に改めて下さい。 (4頁)
- 5 在來の「習字」は國民學校の「書き方」と同じですか？ (12頁)
- 6 わが國全體では一ヶ年に大體どれ位の米が在るのですか？ (9頁)
- 7 加里肥料を手近か得るにはどうすればいいですか？ (14頁)
- 8 馬鈴薯を植ゑるとき種薯の切り方は？ (19頁)
- 9 ムンリアとは？ (ムンリア)ニ首相の敬稱？ イタリヤ青少年團の名？ イタリヤ人が荒地に建設した都會の名？ (8頁)
- 10 胡瓜やトマトなど實を採る作物と、馬鈴薯や大根などの根を採る作物に殊に重要な肥料は？ (14頁)

一問十點としてあなたは得點したか？

**寫眞週報(精裝版)**

昭和十六年三月九日印刷發行

編輯部 清 報 局  
東京市神田區  
九ノ三三ノ一二

印刷部 内閣印刷局  
東京市神田區大手町

一部 十 錢

▲郵約配送希望の方は一都十錢(外國郵便に依る地域は十九錢)の割合を以て前金を添へ御申込み下さい。

▲特大號の場合はその郵代を別添込より差額を申受けます。

内閣印刷局發行課  
電話九ノ三三ノ一二  
東京市神田區一〇〇〇

全国各地官報販賣所  
東都書籍株式會社  
各書店・洋書店  
各新聞販賣店  
寫眞材料店

# 資源愛護のため

**鹽は軍需品です 大切に使用ひませう**

私共の食卓に一日も缺く事の出来ない食鹽は、又爆薬等の原料として、戦時下の日本には無くてはならない重要な資の一つになつて居ります。今迄は何の氣もなく使つて居た鹽が、此の様な大切な役割を持つてゐるのを知つたならば、臺所經濟を預る主婦の肩にかゝる責任も亦重大と言はなければならぬでせう。

鹽には内地鹽と輸移入鹽がありますが、一般家庭で使はれてゐるのは多く内地鹽であつて、工業用には主に輸移入鹽が使はれます。

鹽は品質によつて、内地鹽には上等並等、輸移入鹽には一等から四等迄の區分があります。

内地鹽は皆様御承知の様に鹽田で鹽水を採り煮つめて結晶をさせる方法を探りますが、輸移入鹽は簡單な天日製法を用ひて居ります。それは鹽田に直接海水を導いて太陽熱と風の力で水分を蒸發させて鹽を作る方法です。

鹽の生産量は天候に支配されることが多いのであります。輸移入鹽は外地から輸移入するのでありますから配給關係其他で思ふ様に輸移入が出来ない事があります。然し鹽は生活必需品でありますから之が生産量の確保は絶対に必要であります。此の事については大藏省專賣局で萬全を期して居ります。

併し何不自由なく間に合ふからと言つて無駄や放縱の使ひ方は絶対に慎まなければなりません。殊に一家經濟を雙肩に擔つて居らる、主婦は些細なものについても經濟的な使ひ方を常に研究して置くべきではないでせうか、必要以上の使はない事、鹽の中に濡れた手を入れない事、使つた後の鹽壺の蓋を忘れない事等ほんの些細な所に注意を配つて臺所から物資の節約愛護の國策に添つて進むべきであると思ひます。

之がやがては百二十億貯蓄の推進力となる事に思ひを致しますと益々臺所を預る主婦の責任の重い事が判ります。

**樟腦の重要性に就て**

天然樟腦は我が東亞のみの天恵であつて、其の用途は極めて廣く、衣類防虫用等は既にすべての人の熟知する處であるが、事實はそれ以外に頗る重要性の有る醫藥用、セルロイド工業用等がある。

殊に事變以來それ等の製品は、或は軍用、或は輸出資材となり、又鐵やゴム、革等の代用品としての役割を持つ様になり、中には代用品の域を脱し本來の性質そのものを尊重せられるものもある様になつた。

ところで需要の増加に對する供給は全てのもの同様に相當逼迫を來し、政府に於ても極力之が増産に留意してゐる次第である。

然し乍ら樟腦に限らず物の増産を圖る一方之が使用を出來得る限り抑制すること及び再使用可能なものは之を繰返し用ふるると云ふ方法は消極的ながら増産の目的に副ふものと考へられる。

此の意味に於て樟腦を最も多く使用しつゝ、あるセルロイドは、再使用に好適のものであつて、如何なるセルロイドの層でも簡單なる操作により新品同様となるものであるから、各家庭に於て死蔵又は廢棄されるセルロイドを機會ある毎に工場へ回収する事とすれば其の効果は蓋し相當なるものありと思料される。

即ちそれによつて再び立派な歯ブラシの柄となり、鐵の代りにもなるのである。

更にセルロイドは樟腦の外に綿、アルコール、硝酸等の時局下重要原料品を使用するものであるから、それ等のもの、方面から云つても大切な事である。

近く愛國兒童協會で各家庭から兒童の手を通じ歯ブラシの柄を回収するもの話であるが、極めて時宜に適するものと考へると同時に齒ブラシのみならずあらゆる他のセルロイド製品も積極的に回収を圖りたいものである。

實業通報 昭和十二年三月十二日 第三種郵便物認可 昭和十二年三月十九日發行（第一回大増刊發行） 第百六十二號

★ 遠家族の心になつて 身になつて ★

# 電球にも新体制



## 新發賣 燭光制電球

二重標示



### 二重標示の特長

電球の頭部に明るさを  
何燭光（C）、消費電力  
何ワット（W）、と二重  
標示してありますから  
明るさの選定と消費電  
力の經濟が一目で解り  
ます。



# 新マツダランプ

東京芝浦電気株式会社 マツダ支社

内閣印刷局印刷發行

（別紙報道）A4倍規定額はきき大の書本